

【所属名：総務部 財政課】

【会議名：平成 30 年度第 4 回行政改革推進委員会】

会 議 録

作成日 平成 31 年 2 月 19 日

日	平成 31 年 2 月 19 日	時間	9:30~11:00	場所	市役所 2 階 201、202 会議室
件名	(1) 平成 30 年度推進項目の取り組み状況及び平成 31 年度実施計画について (2) 平成 30 年度糸魚川市行政改革推進委員会の答申について				
出席者	【出席者】 齋藤伸一 会長 池田正夫 副会長 伊藤秀文 北村雄一 藤原克朗 早川正明 木島嵩善 八木章 (8 人)				
	【欠席者】 大貫慶一 長谷川仁基 (2 人)				
	【事務局】 財政課 : 大沢課長 嵐口補佐 古平係長 総務課 : 渡辺課長 杉原係長 渡辺係長 久保田主査				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	1 人

会議要旨

1 開会

2 会長あいさつ (齋藤会長)

3 議 題

(1) 平成 30 年度推進項目の取り組み状況及び平成 31 年度実施計画について

事務局 (第 3 次糸魚川市行政改革平成 31 年度実施計画を説明)

【質 疑】

委 員 ・ 前回委員会で要望した次の事項について、結果を聞きたい。

① 委員から平成 31 年度の取組項目として追加してほしいとする意見の有無

② 私が要望した項目で、市が関与する委員会や協議会の内容について、市民が知ろうとした場合に、得たい情報が得られない。

整理のうえ、情報としてホームページなどに掲載してはどうかという件。

事 務 局 ・ ①は、若干あったが、新たな項目というよりも現項目の補強として捉えた。

事 務 局 ・ ②は、市が関与する法令や条例に基づく附属機関や要綱等に定める協議会が 46 ある。

どのような内容で実施しているか確認を要するが、同じような会議や委員会が無いか、調べていきたい。

委 員 ・ まとまっていないと、市の行政システムが分散されている、という感じがする。

そのほか、各会議を傍聴すると、内容が重複していると感じる場合がある。

これらを一括管理できる部署があればと考えたとき、行革で取り扱った方が良いと考えた。

事 務 局 ・ 会議や委員会の調査を行っているが、重複している部分が無いか、もう少し整理した上で、行革の項目に掲載するかどうか検討させていただきたい。

推進項目1 市民目線に立った行政サービスの向上

- 委員 ・今後、外国人の転入が増えると考えられる。
窓口や案内板の充実など、適切な対応を取っていただきたい。
必要があれば、行革で取り組むことも研究願いたい。
- 事務局 ・現在も、かなりの外国人の方が転入されている。
対応については、まだまだ手探りの部分があり、今後の課題であることから、お気付きの点があればご連絡いただきたい。

終1 コンビニ交付システムの導入

- 委員 ・マイナンバーカードの利用方法が鍵であり、例えば市が発行する図書カードなどを機能として付加しても良いのではないだろうか。
そのような論議をしたうえで、当面検討することとしているのか。
- 事務局 ・論議の内容については確認していないが、健康保険証機能は非常に重要な機能であり、主たる使い方が定まることによって他に影響する可能性があると聞いている。
よって、国の動向を注視しているものである。

No.4 図書館窓口業務の民間委託

- 委員 ・この項目に関連するが、会計年度任用職員制度を解説してほしい。
- 事務局 ・国の制度改正により、現在の臨時職員が会計年度任用職員という身分に変更となるので、各自治体が当該制度に合わせる事となる。
平成31年度に条例改正し、平成32年度から開始となるが、まだ詳細情報が不足している。

終5 物品等調達事務の見直し

- 委員 ・県内状況を見て、調達方法は先進的で事務改善が進んでいることは理解した。
関連し、公共調達による市内企業活用の配慮はあるか。
- 事務局 ・第一に市内企業を優先する公募条件としている。
多くの市内企業から、競争に参加いただきたい。

推進項目6 職員の意識改革と効率的で質の高い組織運営

- 委員 ・庁用車の車検切れの件など、最近起こっている市職員の不祥事について、市長をはじめ再発防止に取り組むとしているが、空回りしているように見える
職員の意識改革について、現段階の考え方を聞きたい。
- 事務局 ・車検切れについては、庁内会議の中で注意喚起を2回行ったが、それでも起きてしまった。
意識改革は重要だが、まずチェック体制の充実を図るべきと考えている。
・具体的にはダブルチェック体制の確立、ダッシュボードにシールで期限表示、を考えている。
- 委員 ・人間なので仕方がない部分があり、ただ単に注意するだけでは駄目だろう。
職員が深く考えをめぐらすようにすることが大事である。
- 委員 ・今回は、事故があったから車検切れが判明した。

- 事故が無かったら分からなかったのではないかと思うし、そこが重要である。
また、精神的な病を持つ職員が増えていると聞く。
これらのことから、職場環境に何らかの問題があるのではないかと考える。
市職員は市民の財産であり、行革で真っ先に取り扱ってほしいことである。
- 事務局 ・精神的な疾患で休養を取っている職員は6名で、リハビリ勤務を開始している者もいる。
精神的な疾患は繰り返す場合があるので、ケアをしっかりとやっていきたい。

No.9 職員による行政事務・業務の改善及び提案

- 委員 ・本年度の職員提案 100 件のうち、2 件を優秀提案とし、庁内発表をしたと思うが、我々市民が発表を聞くことができる機会はあるか。
- 事務局 ・発表は、報道機関へ公開し、ホームページへも掲載したが、市民に見ていただける場について少し検討させていただきたい。
- 委員 ・来年度から整理運動を行うとしているが、品質管理上の「5 S」の一つだけであるならば不足感があるので、充実してほしい。
- 事務局 ・ご意見を踏まえて取り組む。

No.11 タブレット端末の導入による事務の効率化

- 委員 ・市議会のタブレット端末導入は、市民の評価が良くない。
タブレット使用の効果をどのように表すのが課題である。
せっかく導入したのだから、議員の皆さん全員が使える取組を行う必要がある。
- 事務局 ・使う側の温度差があって、更なる研修会を計画しているとのことであった。
・今のままでは早急に効果が見えないことから、目標の設定にも課題があったと感じる。
ペーパーレスだけではなく、郵送料の削減など間接的な効果と目標に目を向けるべきであった。
- 事務局 ・簡易な資料もあることから、できるところからペーパーレスに繋がるよう取り組むべきと考える。
数値目標持って、成果につながるよう議会事務局に伝えたい。
- 委員 ・市議会を傍聴していると、利用具合がよくわかる。
例えば、予算書以外はタブレットにしてみてもどうか。
見るだけの資料は、出力しなくてもいいのではないか。
今の時代に合う行政改革として進めていただきたい。
- 事務局 ・若年層はタブレット等に強いが、年配の方は温度差がある。
- 委員 ・民間は新しい技術を使って改革しており、ぜひ行政改革全体で進めてほしい。
- 委員 ・自分の職場については、ペーパーレスの観点よりも「情報の共有化」「効率化」といった経費ではない部分からパソコン化に取り組んでいる。
担当者がいないと分からないリスクの解消や、すぐ書類を探し出せる効率化が主目的である。
経費削減だけではないことを参考にしてほしい。

(2) 平成 30 年度系魚川市行政改革推進委員会の答申について

事務局 (別紙案を朗読)

委員 ・本年度は文書による答申とし、最終年度にまとめた時に市長へ手渡しする本来の答申を行うこととしたい。

結果 答申案及び文書答申とすることに、異議なく決した。

4 その他

(1) 平成 31 年度の日程について

事務局 ・本日の結果を受け、近日中に文書答申とする。

3 月市議会定例会の期間中に、平成 31 年度実施計画を総務文教常任委員会へ報告のうえ、ホームページに掲載する。

・平成 31 年度は、新しい取組項目があるので、状況を見ながら 6 月又は 7 月に正副会長と相談して実施したい。

委員 ・市議会の改選時期で、そちらの動向を確認しながら進めたい。

結果 異議なくそのように進めることに決した。

5 閉 会